

科目ナンバー	C3210	要件	保育必修	授業形態	演習	対象学生	II A C D
授業科目	社会的養護内容						
実施期	前期	単位数	1単位	授業担当者	石田 雅弘		
【科目の概要】 社会的養護の現場で課題となっている「被虐待児への支援」や「発達に課題のある子どもへの支援」等について事例や参考文献を基に発表や討議を行い、具体的な支援力を高める。また視覚的教材等も活用し、保護者の気持ちなども学習する。							
【この科目を通して獲得を目指す力】							【関連DP】
ア	社会的養護（内容）に関する基礎的な知識をもっている。						1-d
イ	社会的養護下にある子どもと保護者への具体的な支援について情報収集等の技能を身に付けている。						2-c
ウ	個々の子どもに応じた支援（心のケアや自立支援など）を機関との連携について理解している。						3-c
エ	子どもとその家族の問題について資料等を取集するなど常に関心を持ち、保育者としての感性を磨こうとしている。						4-d
【授業の内容】				【実施日】	【授業時間外学習の内容】		
1	社会的養護とは何か。社会的養護の意義 「この子は何故死んだのか」			月 日	社会的養護の基本的知識を確実にしておくこと。（0.5時間）		
2	課題研究と発表1 グループ発表形式 課題は児童虐待、愛着障害、発達障害等。			月 日	研究課題の下調べ（0.5時間）		
3	課題研究と発表2 グループで課題研究と発表準備 （経過報告が必要）			月 日	研究発表の準備（0.5時間）		
4	課題研究と発表3 グループで課題研究と発表準備 （経過報告が必要）			月 日	研究発表の準備（0.5時間）		
5	研究発表 教員と学生の相互評価方式で意見交換を行う。			月 日	研究発表（0.5時間）		
6	子どもの自立と施設の支援1 施設入所前と入所時に保育士が配慮すべきこと。			月 日	アドミッションケアについて理解しておくこと。（0.5時間）		
7	子どもの自立と施設の支援2 子どもの人権と施設内虐待			月 日	第三者評価について理解しておくこと。（0.5時間）		
8	子どもの自立と施設の支援3 子どもが何故荒れるのか、事例を 読んで考える			月 日	被虐待児の特徴を理解しておくこと。（0.5時間）		
9	子どもの自立と施設の支援4 発達障害がある子どもへの理解と 施設での支援			月 日	発達障害時の特徴を理解しておくこと。（0.5時間）		
10	子どもの自立と施設の支援5 個別的な関わりと家庭的雰囲気 の重要性（里親・GH等）			月 日	里親制度について理解しておくこと。（0.5時間）		
11	子どもの自立と施設の支援6 リービングケアとアフターケア （自立援助ホーム）			月 日	自立援助ホームについて理解しておくこと。（0.5時間）		
12	施設の日課の意義と課題（起床、食事、自由時間、学習、就寝）			月 日	日課の意義について理解しておくこと。（0.5時間）		
13	児童虐待が及ぼす影響1 心の傷への対応（児童心理治療施設）			月 日	児童心理治療施設について調べておくこと。（0.5時間）		
14	児童虐待が及ぼす影響2 逸脱行為への対応（児童自立支援施設）			月 日	児童自立支援施設について調べておくこと（0.5時間）		
15	社会的養護施設で働く職員 まとめ レポート提出			月 日	レポート作成（1～2時間）		
16				月 日			
【教科書・テキスト】 社会的養護で使用した教科書を持参すること。 必要に応じてプリントを配付する。				【成績評価の方法】 グループ発表30%、個人発表10%、振り返りレポート20%、まとめレポート30%、授業態度10%			
【参考書・教材】 社会的養護施設（乳児院、児童養護施設、児童心理療法施設等）の運営指針及び社会福祉協議会は発行の第三者評価に関する資料							
【履修要件及び履修上の注意事項】 発表や毎回のレポートで成績評価を行うため、欠席は成績に影響しやすいので注意すること。またレポート等の提出が遅れると大幅に減点となる（その時に提出できないと30%減で評価する）。毎回の授業レジュメや資料は次回の授業時までには教員が参するが、それ以降は教員室に取りに行くこと。							
【履修上の遵守事項】							
【連絡先・オフィスアワー】 連絡先： オフィスアワー：							

＜チェックシート＞					
指標		基準	レベル 1	レベル 2	レベル 3
ア①	社会的養護の現状と課題についての理解		社会的養護を取り巻く状況や課題について二つ程度なら述べるができる。	社会的養護を取り巻く状況や課題について二つ以上述べるができる。	社会的養護を取り巻く状況や課題について、今日の国の政策に関係付けて述べるができる。
ア②	社会的養護における保育者の役割の理解		社会的養護に携わるための倫理綱領やその役割を二つ程度なら述べるができる。	社会的養護に携わるための倫理綱領やその役割について二つ以上述べるができる。	社会的養護に携わるための倫理綱領やその役割について、なぜ重要なのかも含めて述べるができる。
ア③	社会的養護を受けている子どもの支援内容と方法の理解		社会的養護における子どもの特徴と支援方法について述べるができる。(乳児院と児童養護施設)	社会的養護における子どもの特徴と支援方法を述べるができる。(レベル1 プラス その他の施設種別二つ以上)	社会的養護における子どもの特徴と支援方法を理解し、その課題点も含め述べるができる。(施設種別で四つ以上)
イ①	虐待を受けた子どもへの基本的な支援方法と技能		虐待を受けた子どもの心的特徴等を理解し、支援方法を述べるができる(アタッチメント障害等)。	虐待を受けた子どもの特徴を理解し、支援方法について具体的に考えることができる。	虐待を受けた子どもの特徴を理解し、支援方法や技術を習得している。
イ③	発達等に課題のある子どもの基本的支援方法や技術		発達に課題のある子ども(ADHDなどひとつ)の特徴について支援方法を習得している。	発達等に課題のある子どもの特徴(アスペルガー等二つ以上)についての支援方法を習得している。	発達等に課題のある子どもの特徴と保護者の支援方法を習得している。
ウ	事例から適切な支援方法を考察		参考文献や事例を読んで、何が問題か考えることができる。	参考文献や事例を読んで、問題から支援計画までを考えることができる。	参考文献や事例を読み、問題から他の機関を活用した支援計画を立案することができる。
エ	資料を収集し、保育者としてのの関心		与えられた資料や事例を読み、その内容を精読するなど関心をもっている。	与えられた資料や事例を読んで、質疑を交わすなど関心を高めようとしている。	与えられた資料を読み、他の文献や参考資料を調べるなど関心を高めようとしている。
この科目を通して学んだこと、獲得できた力、できなかった課題等					